

平成30年度 第20回倉敷みらい講座

SAKUYO STRING ENSEMBLE

作陽弦楽合奏団

ニューイヤーコンサート2019

1月14日(月祝)

14:00開演

(13:30開場)

入場無料 特別講義

くらしき作陽大学 藤花楽堂

PROGRAM

指揮 江島 幹雄

モーツァルト : ディヴェルティメント ヘ長調 K.138

モーツァルト : ピアノ協奏曲第9番 変ホ長調 K.271「ジュノーム」

Pf 片岡 佳乃

モーツァルト : オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットと管弦楽の
ための協奏交響曲 変ホ長調 K.297b

Ob 佐藤 択音 Cl 佐々木七菜

Hr 村田 和彦 Fg 西牧 岳

モーツァルト : 交響曲第29番 イ長調 K.201

PROFILE

指揮 江島 幹雄

くらしき作陽大学音楽学部 特任教授



東京藝術大学及び同大学院修了。ヴィオラを内田博、浅妻文樹、井上武雄、ウィリアム・プリムローズの各氏に師事。室内楽をルイ・グレーラー氏、指揮法を山田和男氏に師事する。東京都交響楽団ヴィオラ奏者として活躍の後、作陽音楽大学（現くらしき作陽大学）に赴任、この間コンチェルトのソリストや数多くの室内楽の演奏会に出演する。1982年より18年にわたる「アルシェ弦楽四重奏団」の活動をはじめ、2001年3月の国立ブルガリア室内オーケストラを共演したChr. バッハのヴィオラコンチェルトは、その卓越した技巧と豊かな音楽性により高い評価を受ける。一方、指揮者として「作陽音楽大学弦楽合奏団」、「マルチェロ室内合奏団」の常任指揮者を歴任。1984年に「倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ」の設立に参加、以来常任指揮者及び音楽監督を務め青少年の音楽育成に情熱を傾けている。1985年、86年、中国政府の招きにより、北京中央音楽院でのオーケストラ指導のため訪中。1988年1999年には倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラを率い北京・上海・蘇州にて演奏会を開催する。また、倉敷を中心に活発な音楽活動を展開している「倉敷アカデミーアンサンブル」と共にニュージーランド公演を成功させるなど、同アンサンブルの常任指揮者として西日本を中心に精力的に演奏会を開催している。2018年3月末でもって倉敷市立短期大学学長を退任、現在、くらしき作陽大学特任教授、倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ音楽監督、倉敷アカデミーアンサンブル常任指揮者、アンサンブル早島音楽監督。



ピアノ 片岡 佳乃 くらしき作陽大学音楽学部音楽学科モスクワ音楽院特別演奏コース3年生

京都ピアノコンクール金賞、及び京都新聞社賞受賞。KOBE国際音楽コンクール最優秀賞、及び兵庫県教育長賞受賞。京都芸術祭にて世界に翔く若き音楽家たちに出演。林美代子、古新薫、ユーリ・スレサレフ、アレクサンドル・ヴェルシーニン、アルチョム・アガジャーノフ、アレクセイ・カマロフ、アレクサンドラ・マカレーヴィチの各氏に師事。



オーボエ 佐藤 択音 くらしき作陽大学音楽学部音楽学科オーボエ専攻3年生

倉敷市出身。小学4年生から倉敷ジュニアフィルハーモニーオーケストラでオーボエを習い始める。岡山学芸館高等学校の吹奏楽部に所属し、第62、63回全日本吹奏楽コンクールに出場し銀賞受賞。これまでに稲吉沙香、高山郁子、高島美紀、加瀬孝宏、菅付章宏の各氏に師事。



クラリネット 佐々木 七菜 くらしき作陽大学音楽学部音楽学科クラリネット専攻4年生

福井県出身。第2回津山音楽コンクール管弦打楽器部門3位。京都フランスアカデミー、ミュージカルブ夏期国際音楽祭など、多数の音楽祭に参加。これまでに、森永真弓、ティモシー・カーター、小倉清澄の各氏に師事。



ホルン 村田 和彦 くらしき作陽大学音楽学部音楽学科ホルン専攻3年生

岡山市出身。12歳でホルンを始める。岡山学芸館高等学校の吹奏楽部に所属し、第62、63回全日本吹奏楽コンクールに出場し銀賞受賞。在学中2回にわたりヨーロッパ演奏旅行にて、スメタナ劇場、ドヴォルザークホール、ウィーン国立歌劇場、ベルリンフィルハーモニーで演奏し好評を博した。これまでに瀬尾達也、村上哲、森博文の各氏に師事。



ファゴット 西牧 岳 くらしき作陽大学音楽学部音楽学科卒業

ファゴットを坂上仁志、菊池保、松崎儀一郎、柳浦慎史の各氏に、室内楽を芦田修次、菅付章宏、菊池保、柳浦慎史の各氏に師事。現在、岡山フィルハーモニック管弦楽団ファゴット奏者、NPO法人倉敷ジュニアフィルハーモニーオーケストラ講師、くらしき作陽大学演奏助手、出雲北陵高等学校音楽コース非常勤講師。